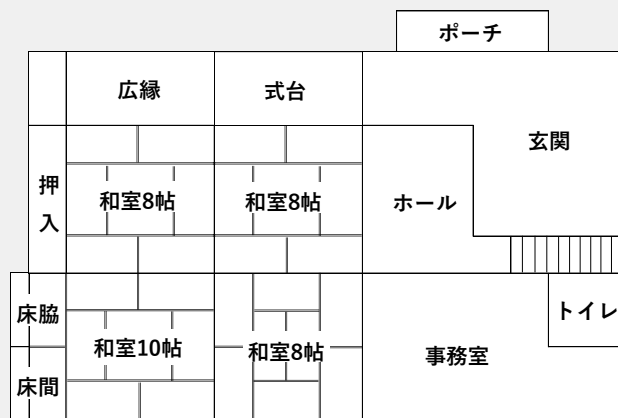
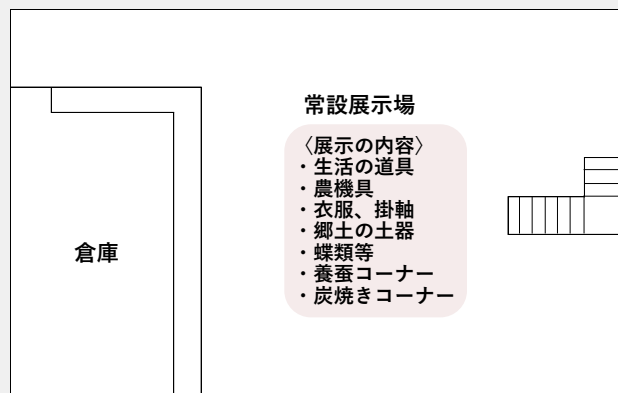
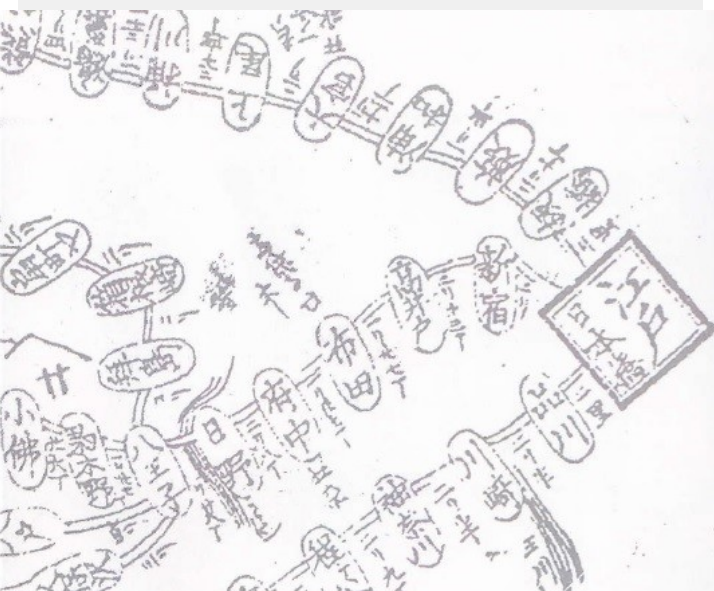




▲1階平面図



▲2階展示場平面図



利用案内

開館日 土曜日・日曜日・祝日等
※12月28日から1月3日までは休館

開館時間 午前10時から午後4時まで

平日の利用について 平日は団体（10人以上）に限り観覧することができます。2週間前までに相模原市立博物館（☎042-750-8030）へお申込みください。

入館料 無料

展示の観覧

- 常設展示（2階）
藤野地域の人々の生活に係わる道具・衣類など郷土の資料を展示しています。
- 映像展示
ビデオにて上映。随時ご覧いただけます。
・県境のまちな昔ー藤野町ー（20分）
・こんにちは神奈川ー藤野町ー（14分）ほか

交通案内

電車・バス JR藤野駅より
徒歩20分
「相模湖駅行き」に乗車、「吉野」バス停下車

自動車 中央自動車道相模湖I.C.から約3分
駐車場3台（普通車用、無料）



吉野宿ふじや

相模原市登録有形文化財（建造物）

〒252-0183 相模原市緑区吉野214
TEL:042-687-5022
<http://sagamiharacitymuseum.jp/>
(相模原市立博物館ホームページ)

甲州道中(街道)吉野宿の面影を 今に伝える古民家

吉野宿ふじやの誕生

相模原市緑区吉野にある「吉野宿ふじや」は、甲州道中の宿場として栄えた「吉野宿」の名残を留める貴重な建物です。

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で、江戸時代には信濃国(現長野県)の高遠藩・飯田藩・高島藩(諏訪藩)の参勤交代などの際に利用されていました。

「吉野宿ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていましたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられたものと言われています。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈されました。平成18年に藤野町指定重要文化財に指定され、国道20号改良工事(歩道設置)に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンしました。平成26年4月1日には養蚕農家と町家の関わりを考える上で貴重な建物として市登録有形文化財に登録されました。

甲州街道の今昔

吉野宿は、江戸時代には信濃国内3藩の参勤交代のほか、甲府城を守る「甲府勤番」、富士信仰、身延信仰、善光寺詣など



▲吉野宿ふじや外観

で通行する人々が多くいました。また、幕府御用達の宇治茶を運ぶ「お茶壺道中」などもあり、大変賑わいました。

明治9年には木造建築としては珍しい五層楼の本陣が建てられました(この本陣も明治29年の大火にて焼失)。明治時代末には鉄道の開通、そして現代の車社会の時代になり、宿場としての役割はなくなりました。現在は、吉野宿ふじやのほか明治の大火にも耐えた土蔵が往時を偲ぶ建物として残っています。



▲現在の甲州街道



▲明治時代の甲州街道

吉野宿ふじやの展示

吉野宿ふじやでは、旅籠の名残を留める建物の見学のほか、藤野地域の考古、歴史、民俗資料などを見ることができます。

●1階

式台玄関から鍵の字型にオクノマに進む格式高い鍵座敷構成が見られます。

●2階

- ・嵯峨遺跡、大日野原遺跡の出土品などの考古資料
- ・藤野地域で盛んであった養蚕や炭焼き関係資料
- ・藤野地域で使われていた生活用品



▲1階 和室



▲2階 生活用品展示

吉野宿ふじや活性化事業

吉野宿ふじやでは、藤野地域や周辺の歴史・文化を紹介する各種企画展やイベントを開催しています。これまでの主なものは次のとおりです。

- 企画展「藤野の昔の産業」展
- 企画展「甲州道中の見どころ」展
- 企画展「藤野のおひな様」展

最新の企画展やイベントの情報は、広報さがみはらや相模原市立博物館のホームページをご覧ください。



▲「藤野のおひな様」展



▲「藤野の昔の産業」展関連事業